

福岡市政だより (2017年5月15日版 No.1593号) に掲載されました

【福岡市政だより 2017年5月15日発刊 No.1593より】

「がんバッテン元気隊」は、がんセンターなど市内2カ所で「がんサロン」を開催し、県内のがん患者会・支援団体をつないでいます。同サロンではがんの体験者が自ら運営スタッフとなり、訪れる人の相談に応じています。代表の波多江伸子さん(68)＝写真右から3番目＝は、「サロンには、さまざまな情報が集まってくるので、患者さん一人一人に適切なアドバイスができます。今後はさらにネットワークを広げ、患者さんのサポートを充実させたい」と話しています。



【フェイスブック (FukuokaNext アジアのリーダー都市へ)】

2017年5月9日 2:30 NEXT 紹介 137) より】

がん・バッテン・元気 隊の皆さんのNEXTチャレンジは「元気隊サロン『かたらんね』」です。「がん・バッテン・元気隊」は、福岡県内のがん患者・支援団体のネットワークで、2008年に結成。県内のがん患者会のガイドブック製作や講演会、がんサロン開催などの活動を続けています。このうち「がんサロン」は、がん患者やその家族などが集まり、交流したり情報交換をする場。自由参加で、都合の良い時に気軽に立ち寄ることができます。サロンスタッフの皆さんは、ピアサポーターと呼ばれる、がんの体験者(ピア)で、九州がんセンターでピアサポート講座とサロン運営の研修を受けた方々です。福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)で月1回、九州がんセンターで月2回(2017年4月からは毎週)開催しています。代表の波多江伸子さんは「サロンの名前『かたらんね』は、博多弁で『かたらんね(参加しようよ)』と『語らんね(語ろうよ)』を掛け合わせた言葉です。食事のことや症状のことなど、スタッフの体験に基づいたアドバイスも行っていますので、ぜひ気軽に参加して、同じ病気を経験した者どうし、語り合っていたきたいと思います。元気で明るいスタッフがお待ちしています」と話しています。

